

ああ思い出のメロディはかしいなつかしさ



今回、足羽利生苑でボランティアをしてくださっている方のご紹介をします。

現在、苑のホールで2か月に1度、四季に合わせた音楽をオカリナで演奏してくださっている野坂さんにスポットを当て、インタビューをさせていただきました。

ボランティア紹介

野坂 幸雄さん

- * 福井市在住
- * 趣味 ソフトテニス
- * 若い頃は
ブラスバンドをされていました



職員..オカリナを始めたのはいつごろですか？

野坂さん..平成16年ごろから始めました。

職員..オカリナを始めたのはいつごろですか？

野坂さん..平成24年ごろ、ボランティアのお願いに足羽利生苑に来させていただいたことから始まりました。

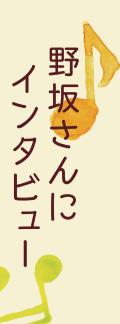
定期的にボランティアとして来ることになったのは、次の年になります。

職員..頻度はどれくらいですか？

野坂さん..こちらの方では、2か月に1回の頻度でさせていただいています。

1か月の期間で演奏曲などを選ぶこともでき、リハーサルを実施することで安心して演奏をることができる

ちょうどいいと思い、そのよ



うにさせていただいている。

職員..ボランティアをされて、楽しみや喜びはどうです

か？

野坂さん..演奏をしている中

で、利用者の方、職員が手拍子をしたり歌を歌われたり

している様子や「きれいな音やね」などの声を聞いたとき

や、声が出なくとも鼻歌や口

ずさまれている様子がみられ

たときに「やつていて良かつた

な」「また来たいな」と感じま

す。

職員..ボランティアをしてい

て、気をつけていることは何ですか？

野坂さん..まずは、健康第一です。体が健康でないとボランティアは続けられないと思っています。



つながる輪 地域の和



家事手伝い



囲碁



エレクトーン演奏



利用者の方の声

- ・昔よく聴いていた曲やで、なつかしいわ。
- ・音楽を聴いて、昔を思い出すわ。一緒に歌えてしまう。
- ・上手やね。とてもきれいな音やわ。

職員の声

- ・ボランティアの方には、とてもありがたい気持ちでいっぱいです。
- ・利用者の方の中には「今日、来るやるか?」と楽しみにされている方もいらっしゃいます。
- ・家事手伝いなどのボランティアの方には、皿洗いやゴムが抜けていた場合入れてくださったり、ほつれている部分を縫つてくださったり、とても助かっています。
- ・本当に感謝しかありません。

その活動が定期的に継続できていることは、利用者の方にとつても大切な地域社会とのつながりになり、利用者の方の生活の活力になつていて感じるところです。

足羽利生苑 副主任
清水弥生